

(1) 実施機関名：

国土地理院

(2) 研究課題(または観測項目)名：

都市圏活断層図整備

(3) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(3) 地震・火山現象に関するデータベースの構築

イ. 地震・火山現象に関する情報の統合化

(4) その他関連する建議の項目：

(5) 本課題の 5 か年の到達目標：

都市域周辺部の主要な活断層について、位置・地形等のデータベースの充実を図る。

(6) 本課題の 5 か年計画の概要：

平成 21 年度においては、邑知瀧断層帯及び木曾山脈西縁断層帯の 2 断層帯を、1:25,000 都市圏活断層図として整備する。

平成 22～25 年度においては、毎年度、2 断層帯を調査する予定である。

(7) 計画期間中(平成 21 年度～25 年度)の成果の概要：

平成 21 年度は、邑知瀧断層帯及び木曾山脈西縁断層帯の 2 断層帯について 1:25,000 都市圏活断層図を整備した。

平成 22 年度は、富良野断層帯、長井盆地西縁断層帯の 2 断層帯について 1:25,000 都市圏活断層図を整備した。

平成 23 年度は、能代断層帯、三方・花折断層帯、出水断層帯の 3 断層帯について 1:25,000 都市圏活断層図を整備した。

平成 24 年度は、横手盆地東縁断層帯、双葉断層帯、関東平野北西縁断層帯の 3 断層帯について 1:25,000 都市圏活断層図を整備した。

平成 25 年度は、前年度に整備した 3 断層帯の 1:25,000 都市圏活断層図を公開し、三峠・京都西山断層帯、六甲・淡路島断層帯、警固断層帯の 3 断層帯について 1:25,000 都市圏活断層図を整備中。

当初の計画どおり都市圏活断層図の整備を実施した。なお、平成 23 年度からは当初の計画の年 2 断層帯を変更し、年 3 断層帯の整備を実施した。

(8) 平成 25 年度の成果に関連の深いもので、平成 25 年度に公表された主な成果物(論文・報告書等)：

(9) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

応用地理部 防災地理課

他機関との共同研究の有無：無

(10) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名：応用地理部 防災地理課 活断層情報係

電話：029-864-6268

e-mail：disaster@gsi.go.jp

URL：http://www.gsi.go.jp

(11) この研究課題 (または観測項目) の連絡担当者

氏名：畑中雄樹

所属：地理地殻活動研究センター 地殻変動研究室